【資料２】

「陸前高田市立小中学校の在り方」に関する
保護者アンケート調査結果

令和８年９月
陸前高田市教育委員会

目　次

１　調査概要
⑴　調査目的……1
⑵　調査方法等……1
⑶　回収結果……1
⑷　集計方法……1

２　調査結果
⑴　全体……2
⑵　地域別……7

３　自由意見……9

調査概要

1 調査目的

陸前高田市立小中学校の在り方について、市民や中学生以下の子どもがいる保護者の意向や考えを把握し、今後の学校の在り方を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法等

〇調査対象

中学生以下の子どもがいる保護者世帯

〇調査時期

令和8年8月～9月

〇配布・回収方法

郵送による配布及びインターネットによる回答

3 回収結果

標本数			回収数			有効回収率
	有効	無効		有効	無効	
789	789	－	522	522	－	66.2%

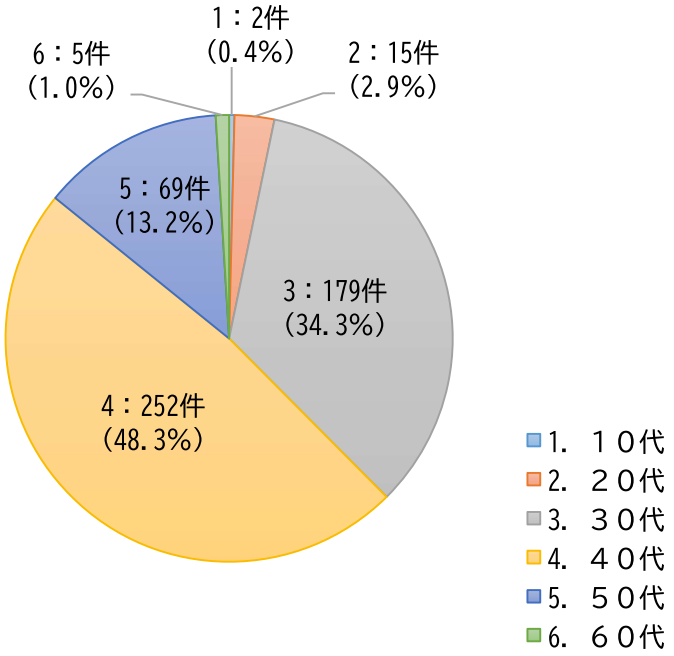
※標本数（有効）は、「あて所に尋ねあたりません」として郵便局より返却されたものを除いた数とする。

※回収数（有効）は、完全無回答のものを除いた数とする。

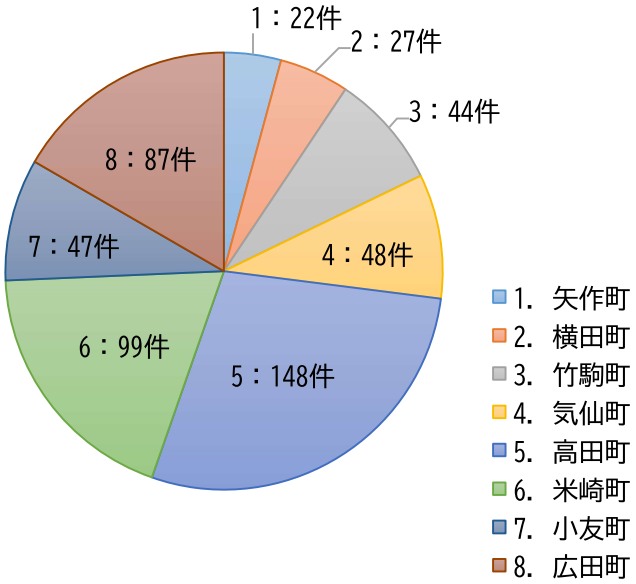
4 集計方法

回答者の属性、学校の在り方に対する考え、学校が地域に果たす役割、通学等に関する考えなど、各設問について集計を行った。また、居住地域の属性別に集計を行った。

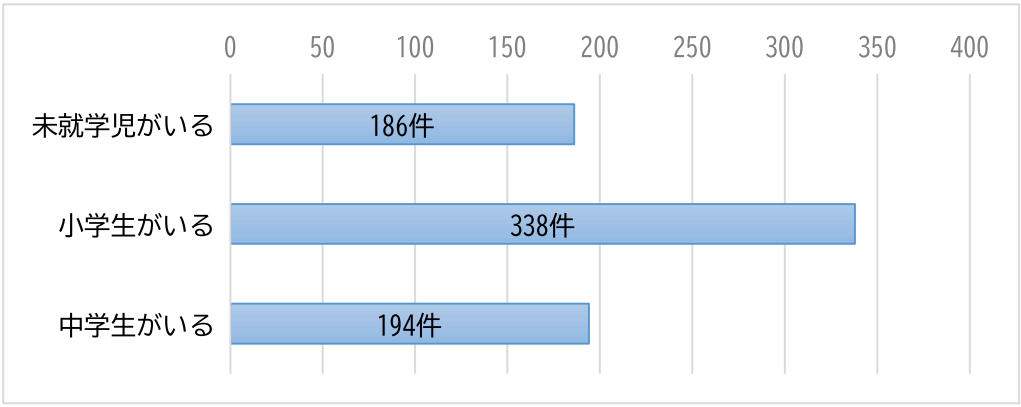
Q1. あなたの年代を教えてください。（n=522）



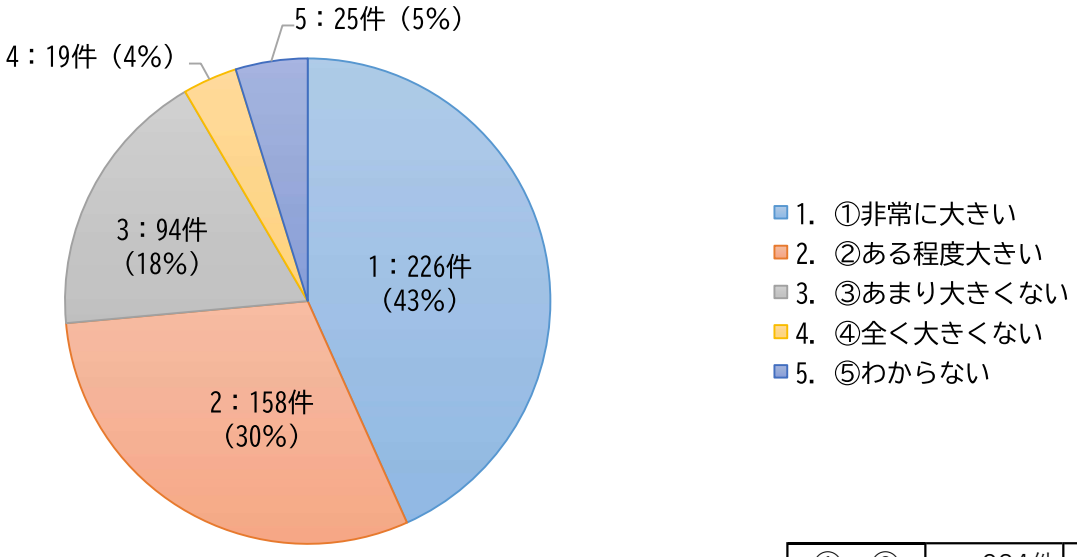
Q2. お住まいの地域を教えてください。（n=522）



Q3. あなたのお子さまについてお答えください。

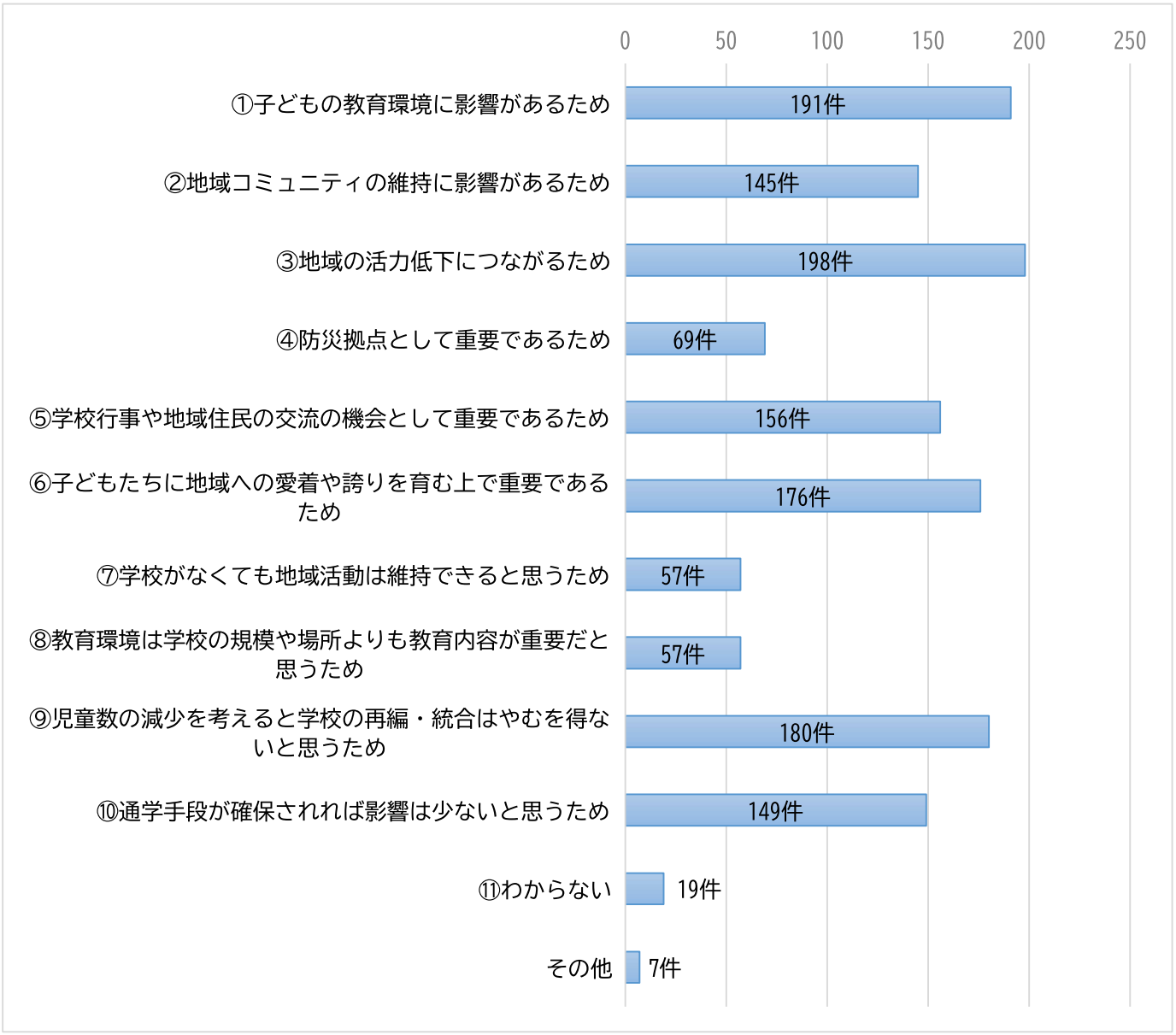


Q4. 仮に地域から小学校がなくなった場合、地域への影響は大きいと思いますか。（n=522）



①＋②	384件	73%
③＋④	113件	22%

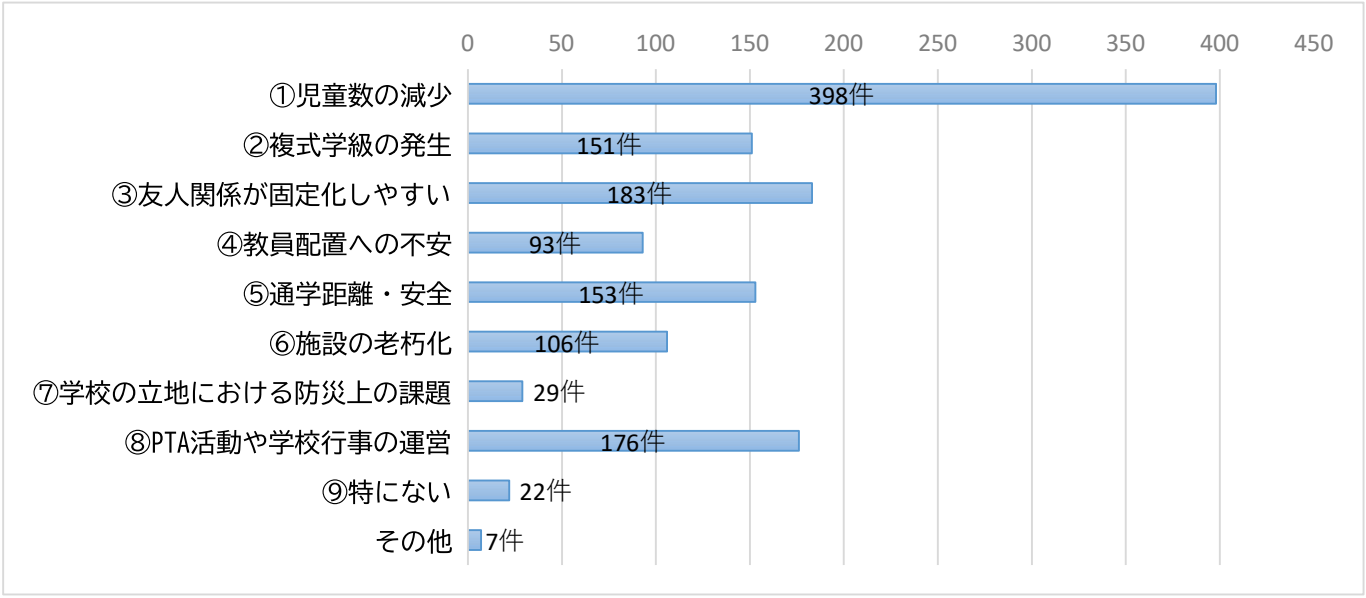
Q5. Q4で回答した理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。（複数選択可）



【その他の主な意見】

・人口減少を前向きに捉え、教育の質を高める工夫が必要
・統合に当たっては、校舎の老朽化や災害時の安全性への配慮が必要
・通学・送迎時間への配慮が必要
・学校の存続は、地域の伝統・文化の継承にも関係する
・学校の有無による地域への影響は、地域の実情によって異なる

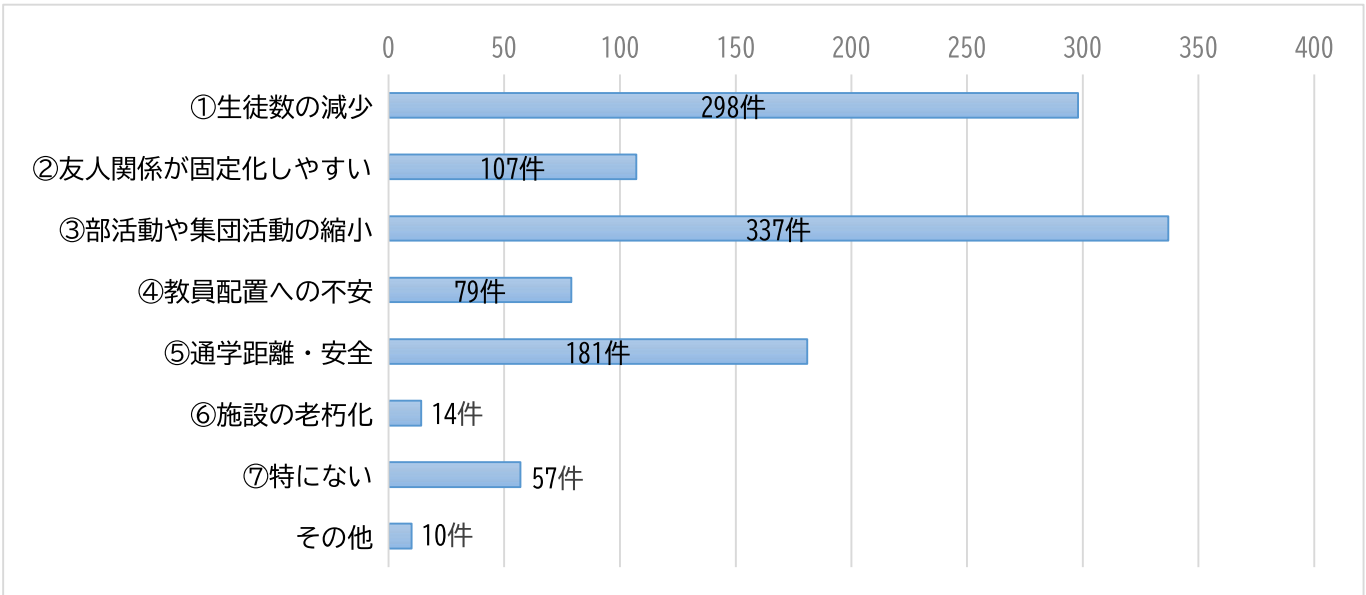
Q6. 現在の小学校について、課題だと感じるものを選んでください。（複数選択可）



【その他の主な意見】

・保護者の負担軽減やペーパーレス化の推進
・近隣市町との交流機会の充実
・特別な支援を要する児童や、いじめへのきめ細かな対応
・スポーツ少年団等の地域活動との両立

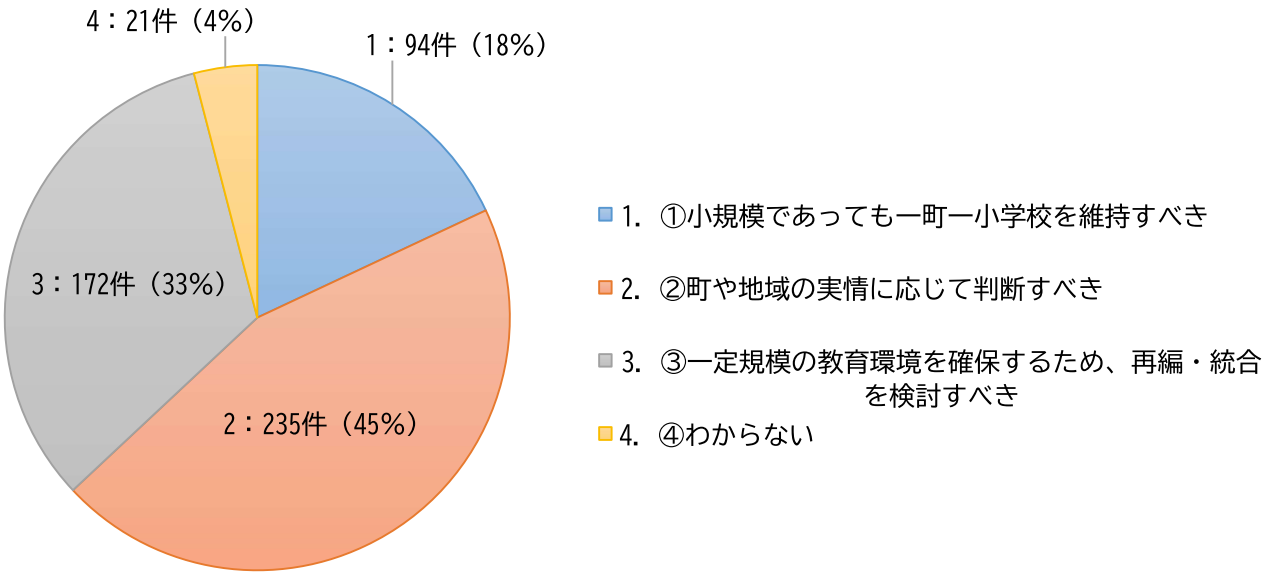
Q7. 現在の中学校について、課題だと感じるものを選んでください。（複数選択可）



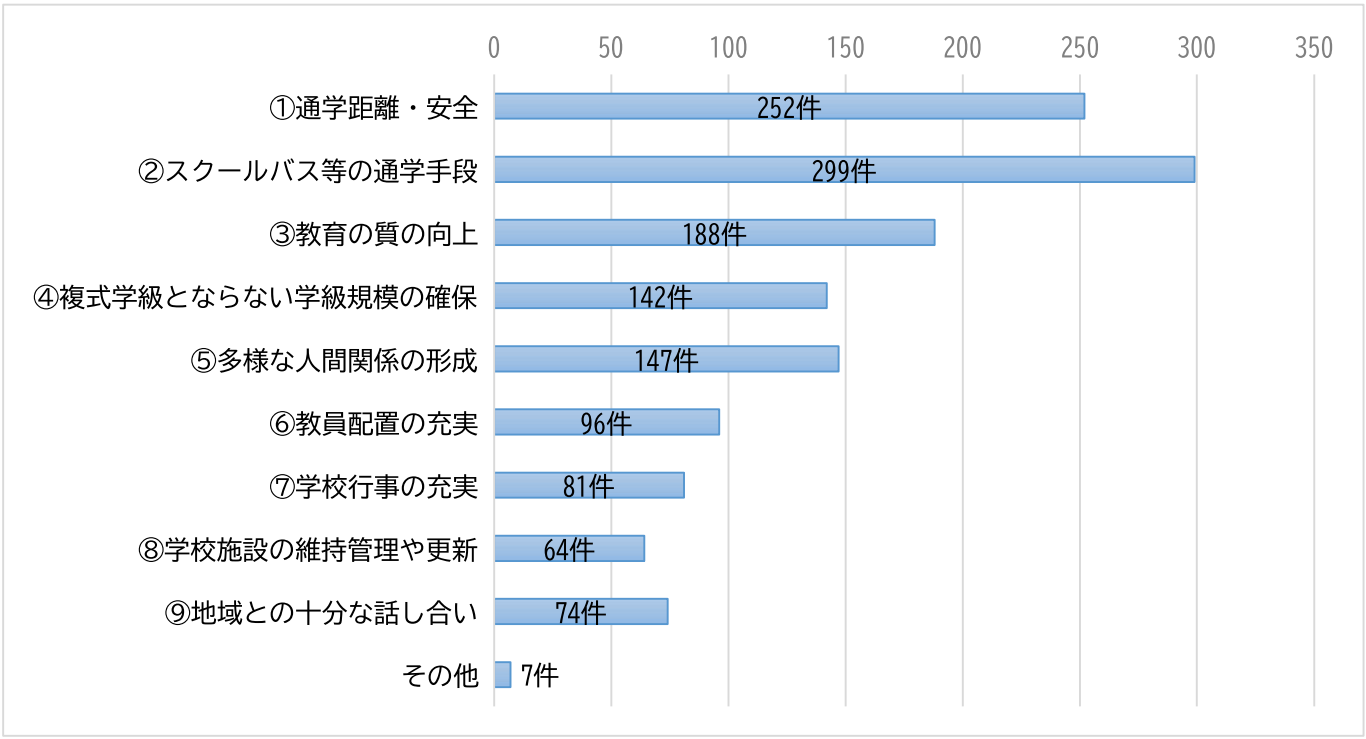
【その他の主な意見】

・駐車場の確保や保護者負担への配慮
・特別な支援を必要とする生徒への支援体制の充実
・不登校の状況や要因の把握、対応の充実
・部活動の地域移行に伴うスポーツ機会や送迎への配慮
・学校の現状や課題についての情報提供・理解促進

Q8. 小学校について、今後どのような方向性が望ましいと思いますか。（n=522）



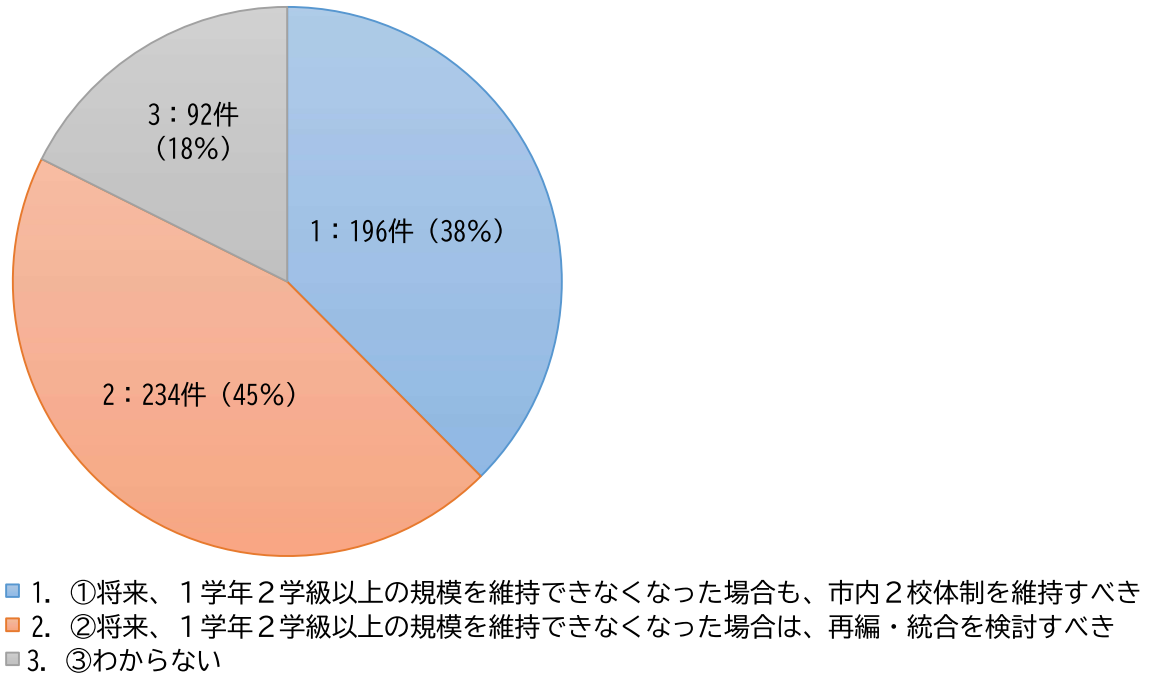
Q9. 今後の小学校の在り方を検討する際に重要だと思う事項を選んでください。（最大３つまで）



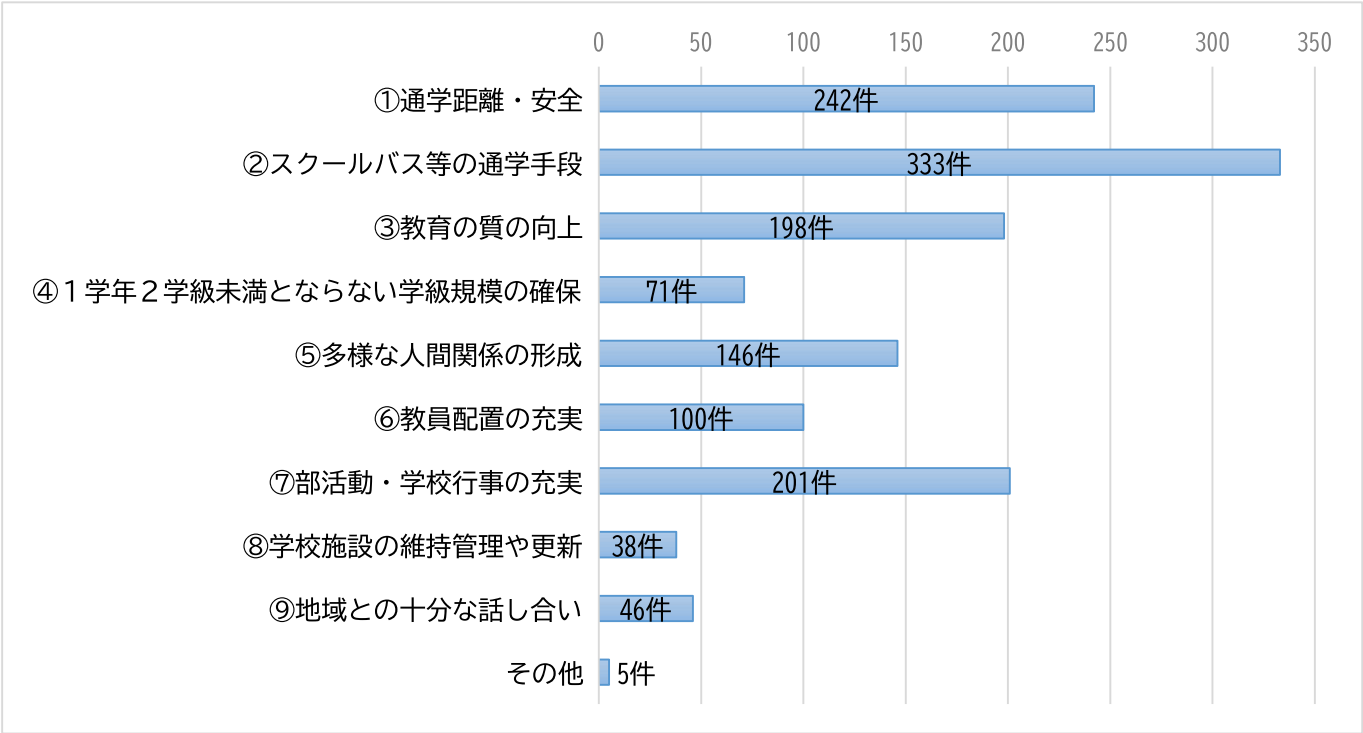
【その他の主な意見】

・小・中学校を含めた義務教育全体の在り方を検討する必要がある
・校舎の安全性や学校施設の状況を踏まえた検討が必要
・教員に加え、コーディネーター等を含めた多様な人員配置の検討が必要
・スクールバス、徒歩通学等を含めた通学方法・安全対策の検討が必要
・教職員の資質・専門性の向上が必要
・小中一貫校など、多様な学校の在り方を検討する必要がある
・小規模校におけるPTA活動や役員負担等の在り方について見直しが必要

Q10. 中学校について、今後どのような方向性が望ましいと思いますか。（n=522）



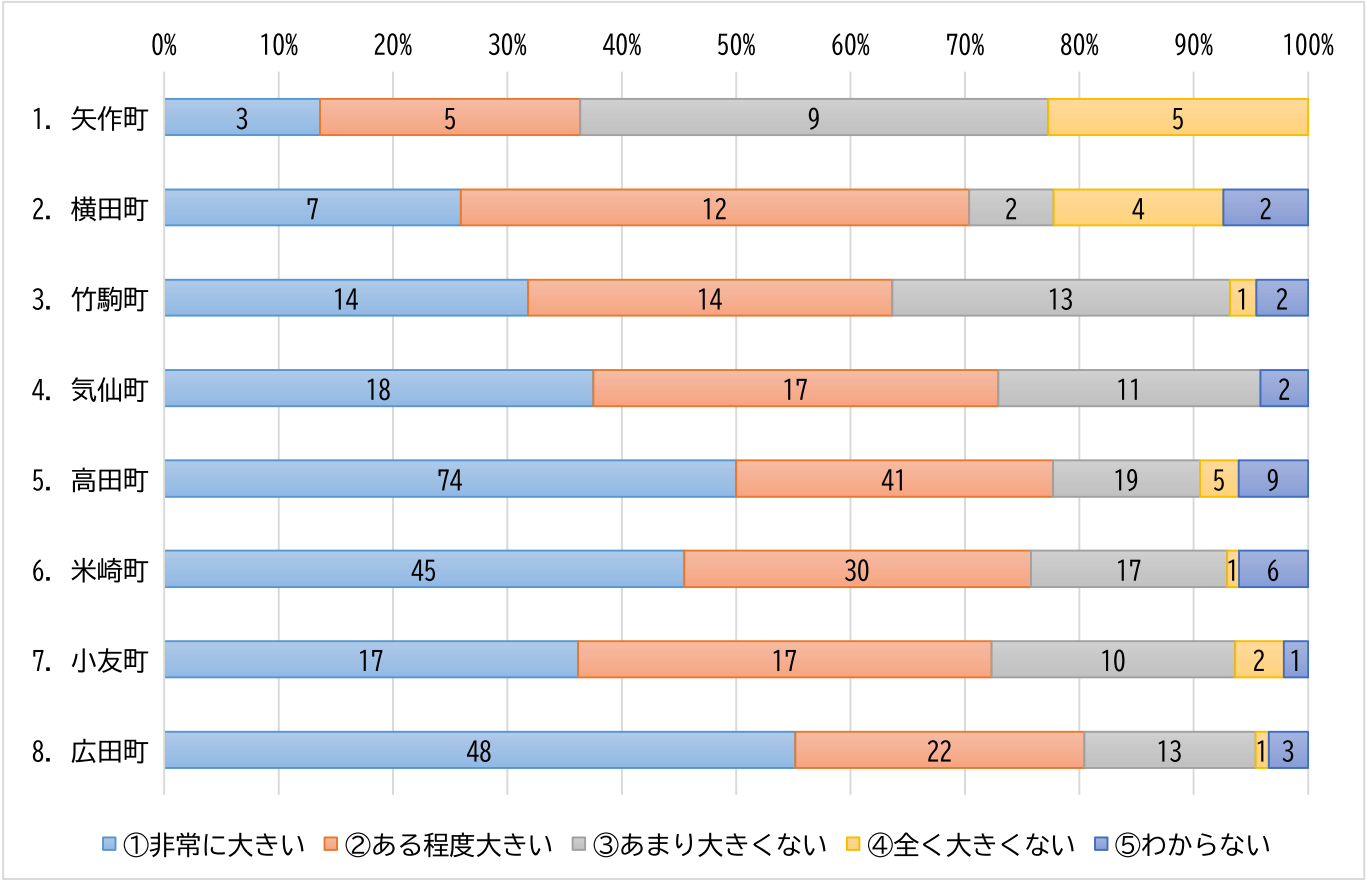
Q11. 今後の中学校の在り方を検討する際に重要だと思う事項を選んでください。（最大３つまで）



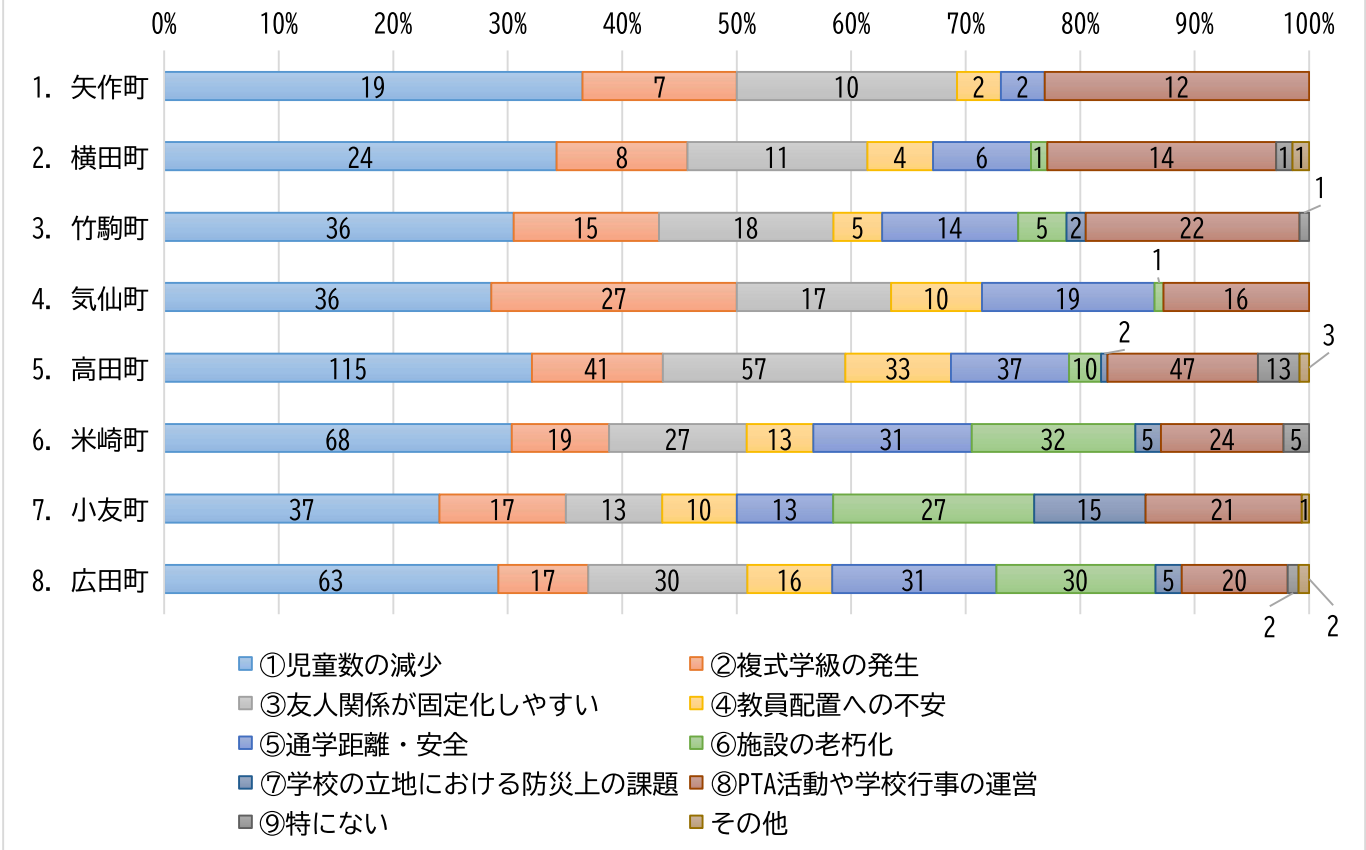
【その他の主な意見】

・小学校から中学校までを含めた義務教育全体の在り方を検討する必要がある
・生徒数の減少だけを理由とした統廃合ではなく、教育の質を踏まえた検討が必要
・生徒の主体性を育む教育や、適切な支援・助言を受けられる教育環境の充実が必要
・教職員の資質・専門性の向上が必要
・子どもが気軽にスポーツに取り組める環境の確保が必要

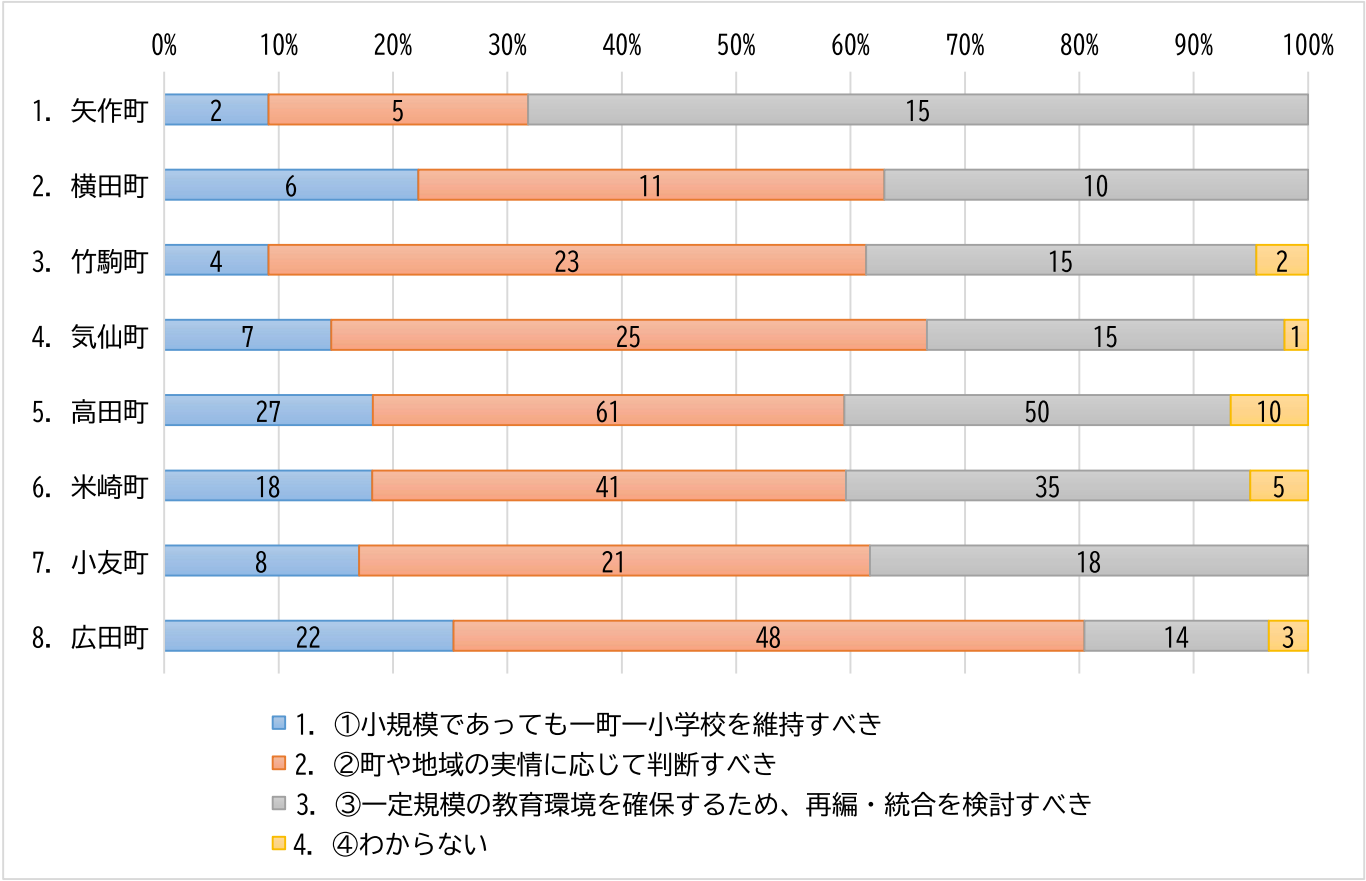
【地域別】Q4. 仮に地域から小学校がなくなった場合、地域への影響は大きいと思いますか。



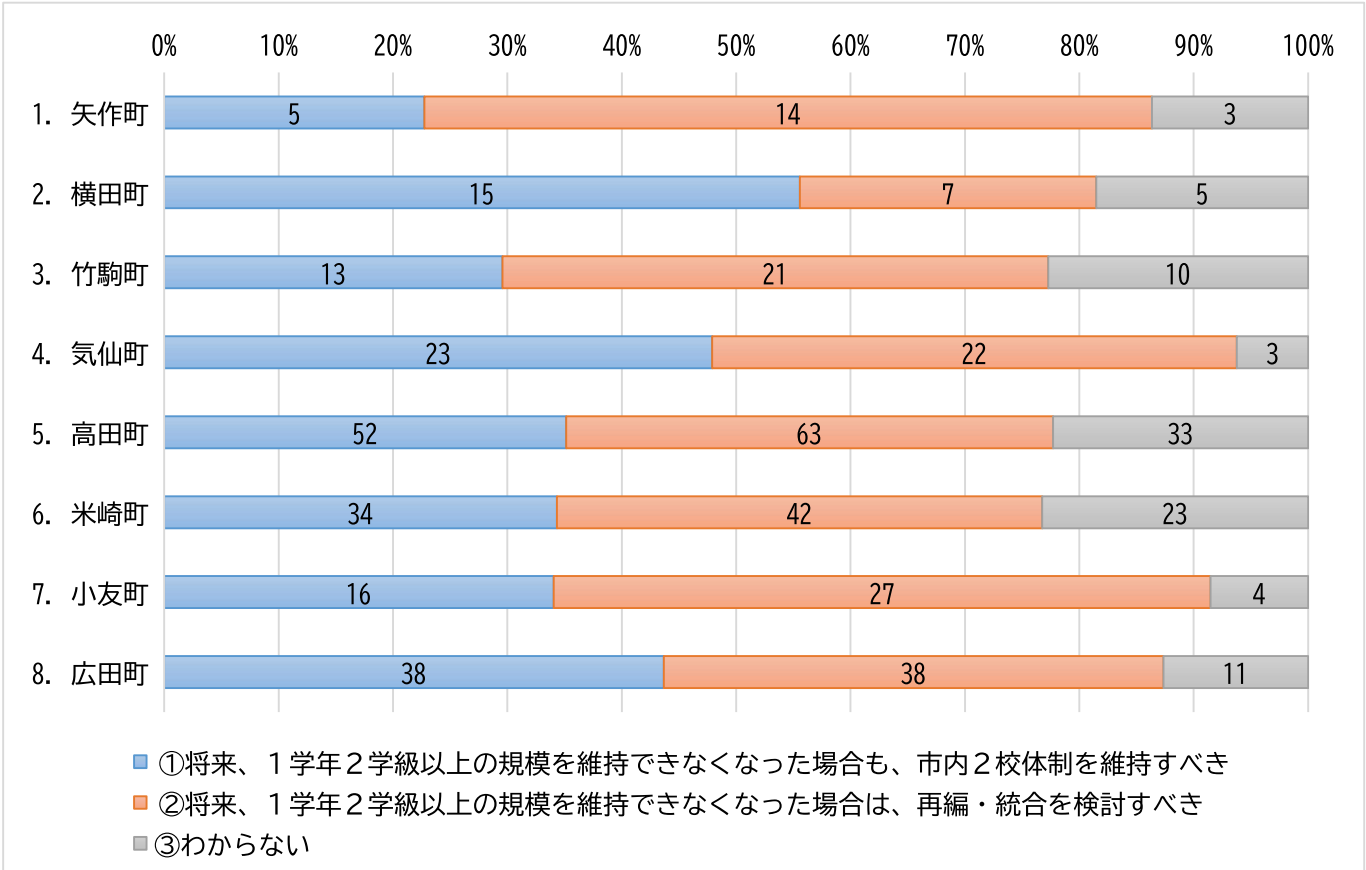
【地域別】Q6. 現在の小学校について、課題だと感じるものを選んでください。



【地域別】Q8. 小学校について、今後どのような方向性が望ましいと思いますか。



【地域別】Q10. 中学校について、今後どのような方向性が望ましいと思いますか。



Q12（小学校の在り方）及び Q13（中学校の在り方）に関する自由記載について

1　整理方法

・小学校については、Q12「今後の小学校の在り方について」を整理した。
・中学校については、Q13「今後の中学校の在り方について」を整理した。
・選択式回答は、アンケートの選択肢に基づき集計する。
・自由記載は、趣旨を損なわない範囲で要約し、内容ごとに分類した。
・小学校と中学校は、分けて集計・整理した。
・自由記載は任意回答であり、記載された意見の件数を保護者全体の賛否とはみなさない。
・1 件の回答に複数の内容が含まれる場合は、複数の項目に整理した。
・個別の意見は、回答者や関係者が特定されないよう、要約して掲載した。

2　回答件数

区分	対象設問	回答件数
小学校	Q12「今後の小学校の在り方について」	108
中学校	Q13「今後の中学校の在り方について」	82
合計		190

3　小学校の今後の在り方

⑴　選択式回答（Q8）の集計結果

小学校の今後の方向性	件数	割合
①小規模であっても一町一小学校を維持すべき	17	15.7%
②町や地域の実情に応じて判断すべき	34	31.5%
③一定規模の教育環境を確保するため、再編・統合を検討すべき	56	51.9%
④わからない	1	0.9%
合計	108	100.0%

⑵　小学校の自由記載に見られた主な意見等

①　学校規模・学級編制・複式学級

・児童数の減少や複式学級により、体育、運動会、遠足、修学旅行、スポーツ等の集団活動の機会が限られている。
・クラス替えができず、人間関係が固定化することへの不安が示されている。
・一定規模の集団の中で、多様な友人や考え方に触れ、切磋琢磨できる環境を求める。
・小規模校を維持する場合でも、複式学級を避ける学級編制や、各学年への十分な指導体制を求める。
・小規模校を維持しながら、他校との交流授業、合同行事等により、集団活動や交流の機会を補ってほしい。

② 教育の質・教員配置・個別支援

・再編・統合を行う場合は、学校数を減らすだけでなく、教育の質を向上させてほしい。

・複式学級における授業時間、児童の学習時間、授業への集中等に課題がある。

・各学年に十分な教員を配置し、教員が児童一人ひとりに向き合える体制を整えてほしい。

・発達特性、不登校、学習のつまずき、いじめ等に対する専門的・個別的な支援を充実させてほしい。

・小規模校でも学力が低下しないよう、補充学習、学習相談、個別支援等を充実させてほしい。

③ 通学距離・通学安全・送迎

・統合により通学距離や通学時間が長くなることを懸念する。

・統合する場合は、スクールバスの整備・増便、運行経路、停留所、運行時間を具体的に示してほしい。

・熊、不審者、交通事故、災害、通学路の草木や街灯等に対する安全対策を求める。

・徒歩通学できる範囲に学校を残してほしい。

・家庭による送迎やスクールバスを柔軟に認めてほしい。

・学童、スポーツ活動、塾等への移動支援を整えてほしい。

・災害時の送迎、帰宅方法、避難場所等について、あらかじめ具体的に検討してほしい。

④ 学校選択・学区外就学

・学校規模、教育内容、通学距離、安全性、家庭の事情等を踏まえ、学区外就学や学校選択を柔軟に認めてほしい。

・学区内の学校に限定せず、一定の条件のもとで保護者が就学先を選べる仕組みを求める。

・災害時に安全な場所にある学校へ通える制度を検討してほしい。

・地域にとらわれすぎず、市全体で教育環境を考えてほしい。

⑤ 地域とのつながり・地域学習・伝統文化

・地域学習、自然体験、郷土学習、伝統芸能、地域行事等を継続してほしい。

・統合後も、旧校区ごとの地域学習や行事を継続してほしい。

・地域コーディネーター等を配置し、学校と地域のつながりを維持してほしい。

・閉校後も、地域住民と子どもたちの交流が途切れない仕組みを整えてほしい。

⑥ 施設の老朽化・安全性・防災

・校舎、体育館、プール等の老朽化や維持費を踏まえ、統合と大規模改修を併せて検討してほしい。

・既存施設を使用する場合は、腐食、倒壊、浸水、避難経路等の安全性を確認してほしい。

・閉校後の校舎、体育館、グラウンド等について、地域活動、防災、放課後活動等への活用や、維持・解体を含めた方針を示してほしい。

⑦ 保護者負担・PTA・学校生活

・PTA 役員や地域役員が固定化し、一部の保護者に負担が集中している。

・PTA 活動、役員選出、会合、研修等を見直してほしい。

・PTA の任意加入の原則を踏まえ、実質的な強制加入や役員の割当てを見直してほしい。

・市 P 連等の組織や役割についても、必要性、活動内容、負担を検証してほしい。

・学校との連絡方法をアプリ等で効率化してほしい。

・学用品の貸出しや購入品の削減、上履き等の学校生活上の改善を求める。

⑧　再編・統合の進め方

・子ども、現在の保護者、これから入学する世代の意見を重視してほしい。

・児童数の推計、学級規模、教員配置、施設維持費、通学距離等の判断材料を示してほしい。

・一定の児童数や学級規模等の判断基準を示してほしい。

・統合する場合は、統合先、統合時期、通学方法、学級編制、教員配置、学童、地域学習、閉校施設の活用等を具体的に示してほしい。

・統合前の交流授業、合同行事、学校見学等を行ってほしい。

・統合後も、子どもの不安やストレスを把握し、相談支援や心のケアを行ってほしい。

4　中学校の今後の在り方

⑴　選択式回答（Q10）の集計結果

中学校の今後の方向性	件数	割合
①将来、1学年2学級以上の規模を維持できなくなった場合も、市内2校体制を維持すべき	28	34.1%
②将来、1学年2学級以上の規模を維持できなくなった場合は、再編・統合を検討すべき	45	54.9%
③わからない	9	11.0%
合計	82	100.0%

⑵　中学校の自由記載に見られた主な意見等

①　学校規模・教育環境

・生徒数の減少により、クラス替え、多様な人間関係、集団活動の確保が難しくなることを懸念する。

・一定規模の集団の中で、さまざまな価値観に触れ、切磋琢磨できる環境を求める。

・市内 2 校体制を維持する場合も、各校の特色、教科専門の教員配置、部活動、行事、2 校間の交流等を充実させてほしい。

②　部活動・地域移行

・生徒数の減少により、部活動の種類が限られ、チーム競技が成立しにくい。

・生徒が希望する部活動を選択できるよう、活動の種類や参加機会を確保してほしい。

・部活動の地域移行に伴い、保護者の送迎、費用、時間、運営負担が増えることを懸念する。

・文化系の活動を希望する生徒の受け皿が不足することを懸念する。

・活動日数、活動時間、テスト前の取扱い、指導者、活動場所、費用、終了後の帰宅手段等を具体的に示してほしい。

・保護者の送迎の可否や家庭の経済状況によって、生徒の活動機会に差が生じないようにしてほしい。

・放課後に学校で待機できる仕組みや、活動後のスクールバスを整備してほしい。

③　通学・交通・送迎

・統合によって通学距離や通学時間が長くなることを懸念する。

・スクールバスの継続・増便、運行時間、停留所、部活動後の帰宅便を確保してほしい。

・スクールバスだけでなく、公共交通の増便や時間帯の見直しを求める。

・自転車通学、熊、通学路の草木、道路状況、街灯等の安全対策を求める。

・学習塾、習い事、スポーツクラブ、地域活動への移動手段を確保してほしい。

④　教育内容・学習支援・教員配置

・教科専門の教員を確実に配置してほしい。

・生徒数の減少を理由に教員配置を減らすのではなく、教育に必要な人員を確保してほしい。

・生徒の習熟度や学習状況に応じた授業、宿題、学習支援を行ってほしい。

・生徒の希望や意見を教育活動に反映してほしい。

・ICT・AI 教育、探究学習、金融教育、キャリア教育等を充実させてほしい。

・教職員の働き方改革を進める場合も、負担を家庭や地域に移すのではなく、必要な教員、支援員、地域コーディネーター等を配置してほしい。

⑤　特別支援・不登校・いじめ・心のケア

・小学校から中学校への支援情報を丁寧に引き継いでほしい。

・進学前の面談や相談の機会を増やしてほしい。

・特別支援学級や発達特性のある生徒への対応を充実させてほしい。

・教職員に対し、障害や発達特性への理解、具体的な支援方法に関する研修を実施してほしい。

・不登校、いじめ、人間関係、進路不安等への相談支援を充実させてほしい。

・統合前から交流活動や説明を行い、統合後も心のケアを行ってほしい。

⑥　進路・キャリア教育・地域とのつながり

・生徒が将来の進路や働くことについて考える機会を充実させてほしい。

・地域の企業、産業、福祉、行政等と連携した職業体験や社会体験を増やしてほしい。

・県外進学、専門学校、就職、留学等を含めた幅広い進路情報を提供してほしい。

・地域活動、地域学習、文化活動等を通じて、旧校区とのつながりを維持してほしい。

・小中一貫校や義務教育学校を検討してほしい。

⑦　保護者負担・学校生活上の負担

・部活動の地域移行に伴う送迎、費用、活動時間等の家庭負担を軽減してほしい。

・制服、ジャージ、教材、部活動費、地域クラブ費等の負担に配慮してほしい。

・制服やジャージのお下がり、リユースの仕組みを整えてほしい。

・保護者が送迎や見守りをできない場合でも、生徒が活動や学習に参加できる仕組みを整えてほしい。

⑧　再編・統合の進め方

・子ども、現在の保護者、これから入学する世代の意見を重視してほしい。

・生徒数の推移、学級規模、教員配置、教育内容、通学距離、施設維持費等を示し、複数案を比較してほしい。

・再編・統合の判断条件を明確にしてほしい。

・統合する場合は、統合先、統合時期、通学方法、部活動、教育内容、教員配置、施設整備等を具体的に示してほしい。
・小学校の再編と併せて、義務教育全体の在り方を検討してほしい。
・将来的な市内１校への統合を含め、長期的なロードマップを示してほしい。

６　小学校・中学校に共通する主な意見・特徴的な意見

⑴　共有する意見

① 教育環境：子どもにとってより良い教育環境を最優先にしてほしい
② 学校規模：一定規模の集団による学びと、小規模校のきめ細かな指導の両面を検討してほしい
③ 教員配置・教育の質：教員の質、専門性、配置を充実させてほしい
④ 通学・交通：スクールバス、公共交通、通学路の安全、送迎負担、放課後活動の帰宅方法を一体的に検討してほしい
⑤ 地域とのつながり：地域学習、伝統文化、地域行事を、再編・統合後も継続してほしい
⑥ 保護者負担：PTA、送迎、学童、教材等に伴う家庭の負担を軽減してほしい
⑦ 検討方法：子ども、保護者、学校関係者、地域住民等の意見を幅広く聞き、児童・生徒数の推計、施設維持費、教員配置、通学条件等の客観的な資料を示した上で、複数の選択肢を比較してほしい

⑵　特徴的な意見

小学校	中学校
複式学級	部活動・地域移行
同級生の少なさ	教科担任・教員配置
クラス替え	進路・キャリア教育
徒歩通学・学童	自転車通学・公共交通
地域学習・伝統文化	特別支援・不登校
PTA負担	部活動の送迎・費用負担

７　まとめ

本アンケートでは、小学校・中学校ともに、将来的な児童・生徒数の減少を踏まえ、一定規模の教育環境を確保するため再編・統合を検討すべきとの回答が最も多かった。

一方で、小規模校のきめ細かな指導、徒歩通学のしやすさ、地域とのつながり、地域学習や伝統文化の継承など、小規模校を維持する意義を評価する意見も見られた。

再編・統合に関しては、学校規模や教育の質だけでなく、スクールバス、通学安全、保護者の送迎負担、学童等への移動、統合前後の子どもへの支援、地域とのつながりの維持を求める意見が示された。